

作成日 2025 年 7 月 16 日

「情報公開文書」 (Web ページ掲載用)

受付番号 : 2025-1-363

課題名 : がん疼痛をもつ進行がん患者のオピオイド服薬セルフマネジメントに影響に与える要因の探索的研究—二次解析—

1. 研究の対象

2018 年 8 月～2020 年 1 月に「がんの痛みを和らげる医療用麻薬の服薬と生活に関する尺度の作成」調査に参加された患者さま

2. 研究期間

2025 年 7 月 (研究実施許可日) ～2025 年 12 月

3. 試料・情報の利用及び提供を開始する予定日

当院で試料・情報の利用を開始する予定日及び外部への提供を開始する予定日は以下の通りです。

利用開始予定日 : 2025 年 9 月 1 日

提供開始予定日 : 該当なし

4. 研究目的

「がんの痛みを和らげる医療用麻薬の服薬と生活に関する尺度」調査に用いられたデータを用いて、尺度に影響を与える要因を二次分析として明らかにすることを目的としています。

5. 研究方法

これらのデータはすでに匿名化されております。本研究のために新たなデータを収集する調査は実施されません。本研究は、東北大学大学院医学系研究科倫理委員会の承認を受けて実施いたします。

6. 研究に用いる試料・情報の種類

調査へご回答いただいた以下の内容です。

ご年齢、性別、既往歴、治療歴、痛み止めの薬に関すること、痛みの程度、オピオイド服薬セルフマネジメント等

7. 外部への試料・情報の提供

該当なし

8. 研究組織

本学単独研究

9. 利益相反（企業等との利害関係）について

当院では、研究責任者のグループが公正性を保つことを目的に、情報公開文書において企業等との利害関係の開示を行っています。

使用する研究費はありません。

外部との経済的な利益関係等によって、研究で必要とされる公正かつ適正な判断が損なわれる、または損なわれるのではないかと第三者から懸念が表明されかねない事態を「利益相反」と言います。

本研究は、研究責任者のグループにより公正に行われます。本研究の利害関係については、現在のところありません。今後生じた場合には、所属機関において利益相反の管理を受けたうえで研究を継続し、本研究の企業等との利害関係について公正性を保ちます。

この研究の結果により特許権等が生じた場合は、その帰属先は研究機関及び研究者等になります。あなたには帰属しません。

10. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけないご連絡が1件でもあった場合には解析を中止いたしますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

当院における照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

担当者の所属・氏名：東北大学大学院医学系研究科保健学専攻がん看護学分野 吉田詩織

住所：宮城県仙台市青葉区星陵町 2-1

連絡先：022-717-7926

shiori.chiba.a5@tohoku.ac.jp

当院の研究責任者：東北大学大学院医学系研究科保健学専攻がん看護学分野 吉田詩織

◆個人情報の開示等に関する手続

本研究で用いるデータはすでに匿名化されておりますが、ご質問等ありましたら、上記までお問い合わせください。